

## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

代表電話番号：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 感染症科 鈴木 真澄

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 感染症科 鈴木 真澄

# 細菌性髄膜炎と診断された方における 肺炎球菌性髄膜炎と非肺炎球菌性髄膜炎の 臨床的特徴の比較検討

## 1.研究の対象

当院で2004年1月から2017年7月までの間に、髄液の細菌培養検査にて陽性となり細菌性髄膜炎の診断を受けられた方

## 2.研究の目的・方法

細菌性肺炎は非常に致死率の高い内科的緊急疾患です。その中でも肺炎球菌による髄膜炎は最も頻度が高く、重篤な経過をたどりうるため、早期診断、早期治療が望まれています。しかし、確定診断である髄液培養（髄液中にいる細菌を培養し検出する検査）は数日の時間を要するため、培養以外の方法による推測が求められています。

そこで今回私たちは、髄液培養以外の方法（臨床的特徴・各種検査項目）で、肺炎球菌による髄膜炎と肺炎球菌以外による髄膜炎の特徴を比較検討し、診断に寄与する項目を明らかにしようと考えています。この研究の成果により、髄液培養の前に肺炎球菌性髄膜炎の診断を推測できる可能性があり、これにより肺炎球菌性髄膜炎による死亡率や後遺症の減少を得ることができると考えられます。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容について調査を行います。

この調査では、参加を拒否することも自由です。もし、参加を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2019年3月31日までの予定です。

## 3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》病歴、カルテ番号、年齢、性別、入院時の血圧、脈拍、血液検査、髄液検査 等